いわて未来づくり機構だより

～第 12 号～

発行日　平成 23 年 12 月 20 日

「いわて未来づくり機構」は、県内各界、各層の組織の横断的かつ意欲ある**「参画」「連携」**を実現し、さらに、各組織の知恵を結集し、スピード感を持って**「実践」**することにより、地域の総合的な発展を目指す新しいネットワークです。

会員の皆様には、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。今年度、「いわて未来づくり機構」は、東日本大震災津波からの復旧復興をテーマに活動しています。

本号では、去る 11 月 22 日(火)に開催された平成 23 年度第２回ラウンドテーブを中心に報告いたします。

事業報告

H23 第２回ラウンドテーブル

１　はじめに

平成 23 年 11 月 22 日(火)の 15 時から、岩手大学内の盛岡市地域連携研究センター(大会議室MIU)において、平成 23 年度第2回ラウンドテーブルが開催されました。

今回は、2部構成で開催され、前半は各作業部会の活動状況と、会員の震災からの復興への取組事例が報告されました。

後半は、「　震災復興をテーマに　国の3次補正予算にも焦点を当てて」というテーマで、ラウンドテーブルメンバーによるディスカッションが行われました。

２　部会の報告

○　<u>第２作業部会</u>

今年度は、被災した沿岸地域の産業復興支援(特にものづくり企業)をテーマとし、第19回目の作業部会を11月14日に開催して、これまでの取組と今後の方向性について検討しました。

○　<u>第４作業部会</u>

今年度は、震災復興のための人材育成事業と連携した取組をテーマとし、第20回目の作業部会を7月６日に開催し、今年度の活動計画と『地域リーダー像の提言について検討。また、11 月 16 日には第 21 回目の作業部会を開催し、今年度の活動の具体化について検討しました。

○　<u>公募型復興企画推進作業部会</u>

国内外からの支援と被災地域のニーズとのマッチングなどを目的として新たに設置。第1回目の作業部会を10月28日に開催し、「いわて公募型復興企画(仮称)のスキームとワークショップの基本方針について検討。11月18日には、第 2 回目の作業部会を開催し、この企画の進め方やワークショップの開催について検討しました。

３　会員の事例発表

○　<u>岩手県商工会議所連合会</u>

二重債務問題等を解決するため設置された「岩手県産業復興相談センター」は、去る 10 月 7 日に 39 名体制で業務を開始しました。11 月 21 日現在で延べ相談件数 301 件(実企業数で 148 件)で、そのうち最も多いのが食品製造業 29 件となっています。去る 11 月 17 日には被災事業者の債権買取り第１号が実現しました。

○　岩手県中小企業団体中央会

中央会に加入する 450 組合(24,000 社)のうち約 100 組合が被害を受けました。まず、初動で被害状況の把握を行い、その後、沿岸の６か所で延べ 36 回移動中央会を開催、200 件を超える相談に対応しました。補助制度の創設など国への要望も行なってきましたが、今後、復興に向けて新たな組合の設立も予定されており、雇用の創出や工場アパートの建設などにも取り組んでいきます。

○　(財)いわて産業振興センター

震災対応コーディネーター(2名)の配置、総合相談窓口の開設(相談件数は 119 件) とともに、震災対応専門家の派遣(9件)をしています。また、中古設備情報の紹介(9件)のほか、金融支援として、設備貸与や利子補給、高度化資金の貸付なども行っています。さらに、被災企業のための空き工場や貸し工場、インキュベーション施設の紹介など総合的な支援を行っています。

○　岩手県立大学

「災害復興支援センター」を設置し、教職員や学生のボランティア活動を支援するとともに、中長期の課題に対応するために、「地域政策研究センター」を設置し、復興に向けて、暮らし、産業経済、社会・生活基盤の各分野での研究を行っています。また、「学生ボランティセンター」及び「いわてGINGA―NETプロジェクト」の活動として、全国の大学から千数百名の学生ボランティアを受け入れました。

○　岩手銀行

岩手銀行は、地域振興に欠かせない有力企業に対し、早期復興を支援するため、政策投資銀行と共同出資して「岩手元気いっぱい投資事業有限責任組合」を設立しました。ファンドの総額は 50 億円、投資期間３年、存続期間は 10 年。第１号案件として、震災により東北地方では唯一となった水田の土壌改良に欠かせないケイカル肥料を製造販売する企業への投資が決定しました。今後も総合的な支援をしていきます。

4　ディスカッション

ラウンドテーブルメンバーによるディスカッションは、『震災復興をテーマに、国の３次補正予算にも焦点を当てて』行われ、各メンバーがかかわっている組織の震災復興への様々な取組なども紹介されました。

なお、概要は、機構のホームページで御覧いただけます。

機構の活動

■全国水産系研究者フォーラムの開催

岩手大学では、全国から水産系研究者の知見を結集し、新たな水産資源の活用方策を探るとともに、岩手県の各層と協同で、水産系分野の研究拠点形成を目指していきます。

今回のフォーラムは、水産系分野の『いわてモデル』となる新たな研究拠点の形成に向けたキックオフとして実施されます。

○日時：平成 24 年１月７日(土)
　　　13：00～17：00
○会場：岩手県沿岸広域振興局本局
　　　(釜石地区合同庁舎)
　　　〒026-0043 釜石市新町 6-50(℡0193-25-2717)
○主催：岩手大学・東京海洋大学・北里大学
○内容：基調講演、主催する各大学の取組紹介、パネルデスカッション
○懇親会：会費：5,000 円
○その他：希望者は、翌日、被災した水産関係施設をバスで視察できます。
○問合せ先：岩手大学三陸復興推進室
　　　(℡　019-621-6629)

■平成 23 年度ワークライフバランス推進セミナー

○日時：平成 23 年２月６日(月)　13：30～15：40
○会場：アイーナ　８１２研修室
○主催：岩手県長寿社会振興財団　ほか
○後援：いわて未来づくり機構　ほか
○申込先：(財)岩手県長寿社会振興財団　総務課
　　　(℡019-625-7494)silvers@rose.ocn.ne.jp

いわて未来づくり機構　事務局からのお知らせ

会員各機関の代表者、担当者、メールアドレス等に変更があったら、事務局の和山までお知らせください。

なお、平成 23 年４月１日より、事務局は、盛岡駅西口のアイーナから県庁・政策地域部に移転しました。

電　話：019-629-5217（FAX019-629-5254）　E-mail：t- wayama@pref.iwate.jp　〒020-8570　盛岡市内丸 10-1

ホームページ　http://iwatemirai.com/　会員用ホームページ　http://iwatemirai.com/xoops/